

定例記者会見資料



公立大学法人
島根県立大学

○日 時	平成25年12月11日(水) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「島根県立大学・イーストカロライナ大学 交流シンポジウム」開催について……………〔資料1〕 ・「第13回 国際文化交流のタベ」の開催について……………〔資料2〕 ・島根県立大学産業コンテスト MAKE DREAM 2013 最終プレゼン発表会の開催について……………〔資料3〕 ・「学生研究発表会」の開催について……………〔資料4〕 ・中国地方大学合同グループディスカッション講座について……………〔資料5〕
○資料提供項目	<p>【全学運営組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年第3回保健管理センター健康教育講演の開催について……………〔資料6〕 <p>【その他(しまね国際センター西部支所)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時外国人サポーター養成講座(浜田)の開催について……………〔資料7〕
○行事予定	<p>〔公開講座〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・椿の道読書会 【松江キャンパス】……………12月16日(月) ・栄養士のためのステップアップ講座 【松江キャンパス】……………12月25日(水) <p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方航空ネットワークの維持と地域の役割を考えるシンポジウム 【浜田キャンパス】……………12月13日(金) ・産業コンテスト「MAKE DREAM 2013」 【浜田キャンパス】……………12月13日(金) ・国際文化交流のタベ 【浜田キャンパス】……………12月18日(水) ・ボランティアポイント抽選会 【浜田キャンパス】……………12月18日(水) ・島根県立大学・イーストカロライナ大学交流シンポジウム 【浜田キャンパス】……………12月19日(木)

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525



※次回の定例記者会見は 平成26年1月16日(木) 13:30から開催します。

マスコットキャラクター「オロリン」です。

「島根県立大学・イーストカロライナ大学交流シンポジウム」開催について

1. 目的

様々な文化や言語が交差するグローバル社会において、外国語を使いながら、主張すべきは主張し、時には柔軟に折り合うような異文化理解能力と外国語能力が求められているにも関わらず、我が国のように異文化および外国語との接触が極めて限定されている環境においては、外国語教育や異文化理解教育が思うような効果を上げていないという問題があります。

本会議では、平成 24 年に本学と交流協定を締結したイーストカロライナ大学の協力を得て、最新のテクノロジーを使った異文化理解能力と外国語能力の育成の方法を提案し、島根県立大学より国際的な教育の情報発信を行います。

2. 日時

平成 25 年 12 月 19 日（木） 10:00～15:00

3. 場所

午前の部： メディアセンター 2 階 多目的演習室
午後の部： 講堂

4. 主催

島根県立大学／イーストカロライナ大学

5. 内容

午前の部

イーストカロライナ大学の学生は日本の民話を題材にした劇を上演し、本学学生は石見神楽を上演します。お互いの上演をビデオ会議を通じて鑑賞した後、このような授業を行うに至った経緯、授業の効果、技術的課題についての説明を行います。

1. ビデオ会議を使った国際協同授業のデモンストレーション（10:00）
2. 教育用ビデオ会議設備デモンストレーション（11:10）
3. ウェブツールを活用した教育法デモンストレーション（11:20）

午後の部 大学交流協定締結記念講演

(イーストカロライナ大学の教授二人による講義)

ビデオ会議を使って異文化交流をする仕組みを考案したイーストカロライナ大学ジェイミー・レボヴィッツ教授が、ビデオ会議を使った異文化理解の効果について講義を行います。特にアメリカ人が日本人に対して抱く固定観念が、ビデオ会議を使った交流の授業によってどのように変化したかを講義します。

また、同大学マリオン・エプラー教授は、ビデオ会議を使った異文化交流の授業が学習への動機づけという観点から、どのような効果があるかについて講義します。

(対象) 小中高大で情報教育、語学教育、異文化教育に関わる教員、
または、それらに関心のある方

* 詳しくはチラシをご覧ください【資料①】

6. 参加方法

申込方法： ファックスまたはメールにて

締 切： 12月16日 (12月6日より期日延長)

参加費： 無料 (但し、昼食交流会参加の場合は1,000円)

定 員： 午前の部/ 30名 ・ 午後の部/200名

申込・問合せ先： 島根県立大学国際交流課

TEL 0855-25-9063

Fax 0855-24-2208

(参加上の注意) 会議は一部を除いて英語で行われます。

7. これまでの経緯や今回の特徴など

島根県立大学では、異文化理解力向上のために2010年1月から世界の大学とビデオ会議を使って授業を行っています。2012年5月にイーストカロライナ大学と交流協定を結び、同大学が主宰するGlobal Partners for Educationというコンソーシアムに正式に加入しました。

Global Partners for Educationは世界の28カ国、54大学が加入する教育の協力を目指すコンソーシアムで、日本で正式に加盟しているのは、島根県立大学だけです。1年を通じて、アメリカ、中国、ロシア、台湾、メキシコ、ペルーの大学と英語でディスカッションをする授業を提供しています。

本年度はメディアセンターの多目的演習室を改修し、より美しい音声と映像によるリアルな相互交流を可能にしました。



島根県立大学
浜田キャンパス



島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン

East Carolina University and University of Shimane Joint Conference 島根県立大学・イーストカロライナ大学 交流シンポジウム

平成25年12月19日(木)
島根県立大学
University of Shimane
December 19, 2013



グローバル化時代の 異文化理解教育と外国語教育

Cross-cultural Understanding and Language Education in the Age of Globalization



会議は一部を除いて英語で行われます。
Most sessions will be held in English.

連絡先: 島根県立大学国際交流課 Tel: 0855-25-9063 Fax: 0855-24-2208 Email: kokusai@admin.u-shimane.ac.jp

主催: 島根県立大学・イーストカロライナ大学

賛助: 日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(C) 24520634

島根県立大学・イーストカロライナ大学交流シンポジウム: グローバル化時代の異文化理解教育と外国語教育

ECU and USJ Joint Conference on Cross-cultural Understanding and Foreign Language Education in the Age of Globalization

グローバルな舞台で積極的に活躍できる人材の育成が我が国の教育に求められています。様々な文化や言語が交差するグローバル社会において、外国語を使いながら、主張すべきは主張し、時には柔軟に折り合うことができる異文化理解能力と外国語能力が求められています。我が国のように異文化および外国語との接触が極めて限定されている環境において、どのようにすればそのような資質を育成することができるのでしょうか。本会議では、平成24年に姉妹校協定を締結したイーストカロライナ大学の協力を得て、最新のテクノロジーを使った異文化理解能力と外国語能力の育成の方法を提案します。

島根県立大学 浜田キャンパス
Hamada Campus
University of Shimane

平成25年12月19日(木)
Thursday, December 19, 2013

Program

- 9:30 - 10:00 受付 講堂 Registration in the Auditorium
- 10:00 - 11:00
1. ビデオ会議を使った国際協同授業のデモンストレーション
International Collaborative Class via Video-conferencing Demo

「日本の昔話に基づいた英語劇のライブ上映」
Live Performance based on Japanese Folk Tale
Prof. Patricia Clark パトリシア・クラーク教授
「石見神楽ライブ上映」Iwami Kagura Live Performance
Prof. Eleanor Kane エレナ・ケイン准教授
 - 11:10 - 11:20
 2. 教育用ビデオ会議設備デモンストレーション
Demo of Video-conferencing Systems for Education
江口真理子 教授
森本隆裕 図書情報課長
 - 11:20 - 11:50
 3. ウェブツールを活用した教育法デモンストレーション
Quizletとコーパスを使った英単語学習法
三浦邦彦 教授
 - 12:00 - 13:00
 4. 昼食交流会 Meet and Greet over Lunch
事前予約をお願いします。Please make a reservation in advance.
 - 13:20 - 14:50
 5. 大学交流協定締結記念講演 Keynote Lectures

「アメリカ人学生から見た日本人イメージの変化」
American Students Changing Perceptions of Japan:
The Value of Moving Away from Global Stereotypes.
Prof. Jami Leibowitz ジェイミー・レボヴィッツ教授

「学生の学習動機を高める戦略」
Strategies to Improve Academic Motivation
Prof. Marion Eppler マリオン・エプラー教授

Fax用申込書

Application by fax to 0855-24-2208

お名前／ふりがな First and Last Name

ご所属 Affiliation

役職 Position

ご住所 Address

Tel

Email

昼食交流会 1000円 Lunch 1000 yen
○をつけてください。Circle your choice.

参加する 参加しない
Yes, please. No, thanks.

島根県立大学 浜田キャンパスへのアクセス



お問い合わせ Inquiries

〒697-0016

島根県浜田市野原町2433-2

島根県立大学浜田キャンパス

国際交流課 Kokusai Koryu-ka

Tel: 0855-25-9063

Fax: 0855-24-2208

Email: kokusai@admin.u-shimane.ac.jp

Web: <http://www.u-shimane.ac.jp/>

「第 13 回 国際文化交流の夕べ」の開催について

世界と日本の様々な文化に触れながら、島根県立大学の学生や留学生、教職員と地域の方々が語り合うことにより、相互の理解と交流を深めていくことを目的としている。

記

1. 日時・場所

平成 25 年 12 月 18 日（水）17：00 ～
島根県立大学 第 1 部：講堂 / 第 2 部：学生会館（カフェテリア）

2. 主催：島根県立大学

後援：島根県立大学支援協議会（浜田市役所市民政策課内）
大学を支える会（浜田商工会議所内）
（公財）しまね国際センター、島根県立大学後援会

3. 内容

第 1 部（17：00～）ステージ鑑賞
前半 学生サークル等によるダンス、演奏など
後半 地域音楽家による演奏（17:55～）

イルミネーション点灯式（18：55～）

第 2 部（19：15～）交流会
ゲーム、出し物など大学生と地域の方との交流の時間

（【資料①】チラシ参照）

4. 対象・参加方法・その他

島根県立大学学生、教職員、一般の方（大人・子ども）を対象、
申込不要、参加費無料

5. 第 1 部 後半「地域音楽家」の紹介と内容

ヨーロッパの音楽芸術を専門とし、最近まで東京で活動し浜田市へUターンした音楽家 2 人（ゲスト出演者プロフィール参照）に本事業の趣旨を伝え、内容について協議した結果、「地域の音楽家」として、学生と地域の方に音楽を通して世界に触れてもらいたいという考えが、本事業の趣旨に合致した。

内容については、準備段階からゲストと実行委員会との事前の協議を重ねてきた。クラシック音楽にのせて世界共通であろう“愛”をテーマに、ヨーロッパ発祥の総合芸術であるオペラを中心としたステージとする。堅苦しいオペラのイメージを払拭し、観客には、わかり易く、様々な愛のカタチを垣間見て、感じてもらう。（台詞の字幕等）

本学合唱サークル Yellow Kite とのコラボレーション演奏あり。

以上

第1部 後半 出演者プロフィール

- ① ソプラノ 柿谷美雪さん 浜田市出身。浜田市役所勤務（平成25年4月～）
- ② バリトン 竹永久男さん 東京都在住・山口県出身（友情出演）
- ③ ピアノ 小林紘子さん 浜田市出身。島根県立大学 学長秘書（平成25年3月～）

柿谷 美雪



Miyuki Kakitani Soprano

島根県浜田市出身。大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コース卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所マスタークラス、イタリア・ミラノでの声楽マスタークラス修了。二期会オペラ「ウリッセの帰還」「メリー・ウィドー」をはじめ多数のオペラ、コンサートに出演。二期会会員、練馬区演奏家協会会員。オペラサロントナカイメンバー。

竹永 久男（友情出演）



Hisao Takenaga Baritone

山口県宇部市出身。国立音楽大学声楽科卒業。多数のオペラ出演他、オペレッタにおいても好評を博す。コンサートではヘンデルの「メサイア」、モーツァルトの「レクイエム」、ベートーヴェンの「第九」等のソリストを務める。また、初演作品やCD録音も積極的に行い、幅広い活動をしている。二期会会員。

小林 紘子



Hiroko Kobayashi Piano

島根県浜田市出身。東京音楽大学ピアノ専攻卒業、同大学院チェンバロ専攻修了。ウィーン国立音楽大学（ピアノ）、ミラノ市立音楽院（チェンバロ）のマスタークラスを修了。ピアノ伴奏者、チェンバロ独奏者の他、ヘンデルの「メサイア」、モーツァルトの「フィガロの結婚」「コジ・ファン・トゥッテ」等の通奏低音奏者としても活動を行っている。



島根県立大学

第13回

国際文化交流の夕べ

咲かせよう文化の花
広めよう交流の種

【日時】2013年12月18日(水)

入場無料★ 16:30 ~ 開場
17:00 ~ 開演

【会場】島根県立大学 第1部:講堂 第2部:学生会館(カフェテリア)
【主催】島根県立大学 【後援】島根県立大学支援協議会/大学を支える会/(公財)しまね国際センター/島根県立大学後援会

PROGRAM

【第1部】17:00～ 会場/講堂

前半—島根県立大学学生サークル等によるダンス、演奏など
後半—地域音楽家による演奏(17:55～)

【イルミネーション点灯式】18:55～ 会場/講堂前広場

【第2部】19:15～ 会場/学生会館(カフェテリア)

ゲーム・出し物など、大学生と地域の皆さまとの交流会 ※軽食あり
20:10 終了予定

第1部では、浜田へUターンした地元の音楽家らによる演奏会を行います。

「初恋」や「クリスマスメドレー」などの日本文化を感じさせる歌から、「カルメン」や「椿姫」など華やかなオペラの世界をお楽しみいただきます。また、学生・留学生による歌やダンスの披露もあります。

第2部は、パフォーマンスやゲームなどを楽しみながら、大学生と地域の皆さんが気軽に語り合える交流会を学生の企画により行います。

地域音楽家 PROFILE



柿谷 美雪
(ソプラノ)

島根県浜田市出身。大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コース卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所マスタークラス、イタリア・ミラノでの声楽マスタークラス修了。二期会オペラ「ウリッセの帰還」「メリー・ウィドー」をはじめ多数のオペラ、コンサートに出演。二期会会員、練馬区演奏家協会会員。オペラサロントナカイメンバー。

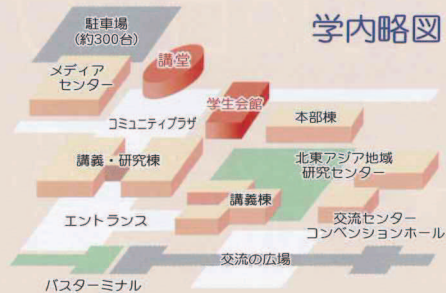


友情出演
竹永 久男
(バリトン)



小林 紘子
(ピアノ)

島根県浜田市出身。東京音楽大学ピアノ専攻卒業、同大学院チェンバロ専攻修了。ウィーン国立音楽大学(ピアノ)、ミラノ市立音楽院(チェンバロ)のマスタークラスを修了。ピアノ伴奏者、チェンバロ独奏者の他、ヘンデルの「メサイア」、モーツァルトの「フィガロの結婚」「コジ・ファン・トゥッテ」等の通奏低音奏者としても活動を行っている。



多数のご来学をお待ちしております。
※申込不要、参加費無料です。

石見交通バス(大学線)時刻表

【行き】	浜田駅(発)	竹迫町	大学(着)	【帰り】	大学(発)	竹迫町	浜田駅(着)
	16:00	16:04	16:11		21:05	21:11	21:27
16:31	16:35	16:42	21:42	21:48	22:04		

【お問合せ先】

島根県立大学 事務局 国際交流課

TEL: 0855-25-9063

FAX: 0855-24-2208

E-mail: kokusai@admin.u-shimane.ac.jp



記者発表資料：平成25年12月11日
担当：浜田キャンパス
総合政策学部 准教授 久保田 典男
電話 0855-24-2200（代）

島根県立大学産業コンテスト MAKE DREAM 2013

最終プレゼン発表会の開催について

この度、島根県立大学の学生が、学生ならではの新たな視点で浜田の地域資源を捉え直し、地域資源を活用したビジネスプランを発表する産業コンテスト「MAKE DREAM 2013」の最終プレゼン発表会を開催することとなりました。

このコンテストは学生に自らのアイデアを発表する場を与えると同時に、地域の企業や行政担当者等に地域活性化のヒントを提供することを目的としています。詳細は以下の通りです。

【開催日時】平成25年12月13日（金）15時～

【開催場所】島根県立大学 交流センター コンベンションホール

【主催】はまだ産業振興機構

【共催】島根県立大学、浜田市、浜田商工会議所、石央商工会

【後援】日本政策金融公庫浜田支店、島根県商工会連合会石見事務所、朝日新聞松江総局・毎日新聞松江支局・中国新聞社・読売新聞松江支局・山陰中央新報社・日本海テレビ・山陰中央テレビ・BSS山陰放送・NHK松江放送局・石見ケーブルビジョン

【発表者】島根県立大学生6組

(22組の応募者から書類選考による1次審査を経て選出)

なお、当日は昨年度に最優秀賞を受賞したプランの実現に向けた取組の事例発表も予定しています。

【参加方法】公開発表形式のため誰でも参加可能（参加費は無料）

【添付資料】MAKE DREAM 2013 概要（別紙1）

最終プレゼン発表会進出者と発表テーマ（別紙2）

最終プレゼン発表会審査員（別紙3）

島根県立大学産業コンテスト

MAKE DREAM 2013

～ぼくの夢が街を活かす。私の夢が街で生きる。～

■主催 はまだ産業振興機構

■共催 島根県立大学、浜田市、浜田商工会議所、石央商工会

■後援 日本政策金融公庫浜田支店、島根県商工会連合会石見事務所

■目的

浜田市には、魅力ある地域資源（※）がたくさんあります。知られていない地域資源も少なくありません。

浜田に生活し豊かな創造性を有する島根県立大学の学生が、新たな視点で浜田の地域資源を捉え直し、地域資源を活用した新たなビジネスプランを発表する『MAKE DREAM 2013』を実施し、「今」あるものを大切に「これから」の時代に合った新産業や新事業創出を提案します。

島根県立大学の学生に自らのアイデアを発表する場を与えると同時に、地域の企業に企業発展のヒントを提供し地域活性化を目指します。

※地域資源とは、その地域にとって強みとなるものを幅広く指します。

■対象者

島根県立大学生（浜田キャンパス）

（応募は原則個人、グループ申請の場合は2名1組による応募まで可）

■ビジネスプランのテーマ

浜田の地域資源（※）を活用したビジネスプランで、以下のいずれかに該当するもの。

- (1) 自ら考案したもの
- (2) 既存の事業にオリジナル性を加えたもの

書類審査を含め審査については、独創性、市場性・採算性、熱意、実現可能性、知識・能力、計画性、地域貢献性等について総合的に評価します。

また、完成したプランだけでなく、プランを実現するために想定する連携先（企業、行政、支援機関等）との話合いの過程についても評価対象となります。

なお、審査の内容に関するお問合せには一切お答えできません。

■応募手続き

応募申込書を添付ファイルの形式で以下のメールアドレス宛に提出してください。

提出先：n-kubota@u-shimane.ac.jp（島根県立大学 久保田典男研究室）

■提出期限

平成 25 年 10 月 18 日（金） 午後 5 時必着（メールにて送信）

■賞品

最優秀賞 1 名（賞状及び 5 万円程度の副賞を贈呈します）

優秀賞 1 名（賞状及び 3 万円程度の副賞を贈呈します）

共感大賞 1 名（賞状及び 1 万円程度の副賞を贈呈します）

■スケジュール

● 応募期間

平成 25 年 6 月 3 日（月）～平成 25 年 10 月 18 日（金） 午後 5 時必着

● 1 次審査（書類選考）

平成 25 年 10 月 21 日（月）～10 月 31 日（木）

開催者側により書類審査を実施し、応募総数から 5 件程度に絞り込みます。

※絞り込まれた応募作品について、最終プレゼン発表会に向けてのブラッシュアップ期間を設けます。

（22 件の応募に対し、6 件に絞り込み）

●最終プレゼン発表会

日時：平成 25 年 12 月 13 日（金） 午後 3 時～

場所：島根県立大学 交流センター コンベンションホール

公開発表会形式にて開催します。（どなたでもご来場できます。）

10 分間程度のプレゼンテーションと 5～分間程度の質疑応答を行い、審査会開催後、各賞受賞者を決定します。

プレゼンテーションではパワーポイントの使用も可能です。

（最終プレゼン発表会の発表者及び発表テーマは別紙 2 参照）

■審査員

主催、共催、後援団体・機関から 1 名ずつ選出

（最終プレゼン発表会の審査員の詳細は別紙 3 参照）

島根県立大学産業コンテスト

MAKE DREAM 2013

最終プレゼン発表会進出者と発表テーマ

●田村 沙代（2年）

浜田ご当地Tシャツで地域おこし

●篠原 梨紗、平岡 美友紀（2年）

はまだ若者ミーティング with NPO

●倉田 敏宏（2年）

浜田の食と自然で学びと癒しを提供する田舎体験型スタディ・ツアー

●和田 元春、湯川 瑞基（2年）

おもてなし浜田～水産加工業めぐり～

●青野 祥子（4年）

じいじとばあばのいる町

●山岡 賢太（3年）

OMOTENASHI

- ・当日の発表順
- ・テーマは申請時のもの。最終プレゼンテーション発表会に向けて学生による内容のブラッシュアップを行うため、一部変更となる場合がある。
- ・なお、当日は昨年度に最優秀賞を受賞したプランの実現に向けた取組の事例発表も予定している。
テーマ：「さかなのがっこう」～もっと浜田をすきになる

島根県立大学産業コンテスト

MAKE DREAM 2013

最終プレゼン発表会審査員

●浜田市

市長 久保田 章市 氏

●浜田商工会議所

会頭 岩谷 百合雄 氏

●石中央商工会

会長 藤田 教造 氏

●島根県立大学

総合政策学部 准教授 久保田 典男 氏

●日本政策金融公庫

浜田支店 支店長 金子 英一郎 氏

●島根県商工会連合会

石見事務所 所長 的場 秀夫 氏

ぼくの夢が街を活かす
わたしの夢が街で生きる

島根県立大学産業コンテスト

MAKE DREAM 2013

～最終プレゼンテーション発表会のご案内～

とき 12月13日(金) 午後3時～午後5時30分

ところ 島根県立大学 交流センター コンベンションホール

MAKE DREAM 2013

ここ浜田市には1000名以上の島根県立大学生が居住し、今や浜田市にとって学生の存在を抜きにしては語れません。

今回、島根県立大学の学生を対象に、浜田市の魅力ある地域資源を活用したビジネスに繋がる夢を発表していただくため、プランを募集しました。

22組の応募に対し、1次審査を経て、6組(次項参照)に絞りこまれたプランを、当日、県大生本人に熱く語って頂きます。県大生に公の場で自らのアイデアを発表してもらうとともに、地域の企業や関係機関の皆様へ学生ならではの視点からヒントを提供することで、共に発展を願い、浜田市の更なる地域活性化を目指すものです。

浜田の企業の方はもちろん、浜田の発展を願うたくさんの方々に、県大生の生の熱い思いをお聞きいただきたいと考えておりますので、ぜひこの機会にご来場ください。

聞いてください!
私たちの「浜田が好き!」
な思いを

主催 はまだ産業振興機構

共催 島根県立大学

浜田市・浜田商工会議所・石見商工会

後援 日本政策金融公庫浜田支店・島根県商工会連合会石見事務所
朝日新聞松江総局・毎日新聞松江支局・中国新聞社・読売新聞松江支局
山陰中央新報社・日本海テレビ・山陰中央テレビ・BSS山陰放送
NHK松江放送局・石見ケーブルビジョン

申込み・問合せ【はまだ産業振興機構 担当:小寺 電話 25-8717 FAX25-8845】

○参加申込書 はまだ産業振興機構 行き

企業・団体名:

氏名

氏名

氏名

氏名



最終プレゼンテーション発表者（発表順）

氏名) 田村 沙代 (2年)

■テーマ

浜田ご当地Tシャツで地域おこし

氏名) 篠原 梨紗・平岡 美友紀 (2年)

■テーマ

はまだ若者ミーティング with NPO

氏名) 倉田 敏宏 (2年)

■テーマ

浜田の食と自然で学びと癒しを提供する田舎体験型スタディ・ツアー

氏名) 和田 元春・湯川 瑞基 (2年)

■テーマ

おもてなし浜田～水産加工業めぐり～

氏名) 青野 祥子 (4年)

■テーマ

じいじとばあばのいる町

氏名) 山岡 賢太 (3年)

■テーマ

OMOTENASHI

※上記テーマは申請時のタイトルです。最終プレゼンテーション発表会に向けて学生によるブラッシュアップを行うため、一部変更となる場合があります。

当日は、昨年度の産業コンテストにおいて最優秀賞を受賞されたプランの実現に向けた取り組みの事例発表も予定しています。

【発表予定】 「さかなのがっこう」～もっと浜田をすきになる～



最終プレゼンテーション発表会審査員

- 浜田市 市長 久保田 章市 氏
- 浜田商工会議所 会頭 岩谷 百合雄 氏
- 石央商工会 会長 藤田 教造 氏
- 島根県立大学 総合政策学部 准教授 久保田 典男 氏
- 日本政策金融公庫 浜田支店 支店長 金子 英一郎 氏
- 島根県商工会連合会 石見事務所 所長 的場 秀夫 氏

「学生研究発表会」の開催について

1 目的

学生の研究について、より広く市民の皆さんに知っていただくことと同時に、学内で学生が研究の成果を報告する機会を設けることを目的に、当該「学生研究発表会」を開催するものです。

2 経緯・今後の展開

当該「学生研究発表会」について、平成 26 年度からは本学「大学 COC 事業」における浜田キャンパス「キャンパス・プラットフォーム」の研究発表の場の一つとして位置づけることを予定しています。このため、平成 25 年度は試験的に開催し、平成 26 年度からは、広く参加ゼミを募って実施するよう検討しております。

3 日時

平成 25 年 12 月 14 日（土） 13:15～14:45

4 会場

島根県立大学 浜田キャンパス 講義・研究棟 中講義室 4

5 内容

①田中恭子ゼミ

テーマ：「6次産業化」

発表者：総合政策学部 3年生 3名

②豊田知世ゼミ

テーマ：「環境」

発表者：総合政策学部 2年生 8名



平成25年度 島根県立大学公開講座

学生研究発表会の開催について

本学総合政策学部では、学生ひとりひとりが確実に学習成果を上げていくために1年次から4年次までゼミナール形式の授業を開講しています。そして、的確な学習指導ができるように、ゼミは10人程度の少人数で実施しています。

今回は、その中で2ゼミの発表をいたします。

田中恭子ゼミ

テーマ「6次産業化」

農工商連携の在り方や、地域への貢献度への関心から、農工商連携での地域資源活用方法、小規模経営における人材育成、地域貢献の程度について、それぞれ6次産業化に取り組む事例を通じて考えていきます。



豊田知世ゼミ

テーマ「環境」

本ゼミでは、浜田市のゴミ処理を事例に、地域の課題をヒアリングや見学、アンケートを通じて明らかにした上で、課題解決のためにどのようなプロジェクトが考えられるのか、有効なプロジェクトの立案・実施する手法について学ぶことを目的にしています。



【日時】

平成25年12月14日（土）

13:15～14:45

【会場】

島根県立大学 講義・研究棟 中講義室4

入場
無料

当日
参加可

皆さまのご来学を
お待ちしております！

【問合先】 島根県立大学 浜田キャンパス
地域連携課（担当：河部）
島根県浜田市野原町 2433-2
TEL:0855-24-2396



平成 25 年 12 月 11 日
島根県立大学(浜田キャンパス)
担当 キャリア支援室 兒玉
電話 0855-22-2202

中国地方大学合同グループディスカッション講座について

1. 経緯及び概要

他大学の就活生も参加するグループディスカッション講座を本学が企画し、(株)リクルート・キャリア(就職サイト:リクナビ 2015 運営)に提案したところ、リクナビ主催のもと、中国地方の多くの大学生が参加する対策講座が開催されることとなりました。

グループディスカッションは多くの企業の採用試験で取り入れられています。本学においても以前から学内で対策講座を実施しておりますが、他大学の学生とディスカッションする本番さながらの雰囲気を体験することは、一層の自己研鑽に資するものと考えます。

2. 開催日時

平成 25 年 12 月 22 日(日) 14:00~17:00

3. 開催場所

広島国際会議場(広島県広島市中区中島町1-5)

4. 内容(予定)

- ・(20分) 講義・レクチャー
- ・(10分) GD①「自由討論」編
- ・(10分) 解説
- ・(45分) GD②「企業に新規事業提案をしよう」
- ・(50分) 発表
- ・(20分) 企業による講評
- ・(10分) 解説
- ・(10分) アンケート記入
- ・個別質問コーナー

5. 参加予定者

対 象…中国地方の大学生
全参加者数…約 120 名
本学参加者…3 年生 40 名程度

6. その他

本学の学生については、会場まで送迎します(大型バス1台)。

平成 25 年 12 月 11 日
島根県立大学出雲キャンパス
保健管理センター長
担当 秦 幸吉
電話 0853-20-0200 (代)

平成 25 年第 3 回保健管理センター健康教育講演の開催について 「心と体の健康は食生活と笑いから。」

1. 目的：正しい食生活や日頃から笑うことが大切であるということを理解する。
2. 日時・場所：
 - 1) 日時 平成 26 年 1 月 10 日 (金) 16 時 20 分～17 時 20 分
 - 2) 場所 島根県立大学短期大学部(松江キャンパス)大講義室 (松江市浜乃木 7-24-2)
3. 内容：

飽食・過食の時代であると言われている現在では、ケーキ、アイスクリーム、ファーストフード、コンビニ弁当、レストランでの贅沢な食事などの摂り過ぎが生活習慣病発症の一つの原因と考えられます。また、これらの食事の摂り過ぎは心の不安定も招きます。したがって、正しい食習慣が病気を予防する最善の策です。

今回の教育講演では、これらの食事がなぜ体によくないか、腹 7 分目の食事がなぜ健康にいいのか、野菜を食べるとなぜがんになりにくいのか、食べ過ぎや高脂肪食はなぜ健康によくないのかなどについて解説し、食事によるがん、糖尿病、脳血管障害、心臓病、高血圧、脂質異常症、肥満などの生活習慣病予防や精神的健全化について講演します。さらに、心から笑うことが免疫系に及ぼす効用についても触れます。
4. 講師：

公立大学法人島根県立大学 保健管理センター長 秦 幸吉 (はた こうきち)
(島根県立大学出雲キャンパス 看護学部 教授)

島根医科大学卒業。医学博士。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。日本超音波医学会認定超音波専門医・指導医。島根医科大学講師、香川県立保健医療大学教授などを経て現職。香川県立保健医療大学名誉教授。研究テーマは超音波診断学、婦人科腫瘍の増殖・進展メカニズムの解明。
5. 参加者：松江キャンパス学生、教職員及び参加を希望される一般の方
6. 参加方法：参加を希望される方は当日、直接会場へお越し下さい。参加料は不要です。
7. これまでの開催状況：
 - 1) 第 1 回保健管理センター健康教育講演
 - ①開催日 平成 25 年 7 月 17 日 (水)
 - ②場 所 浜田キャンパス
 - 2) 第 2 回保健管理センター健康教育講演
 - ①開催日 平成 25 年 7 月 24 日 (水)
 - ②場 所 出雲キャンパス

<参加者募集>

災害時外国人サポーター養成講座（浜田）

3.11 東日本大震災では、留学生や日本人学生が 被災者支援に大きな力を発揮しました。

言葉・文化の違いや災害経験の少なさなどから、災害時には、外国人がより深刻な状況に陥ることが考えられます。そのため、災害時に外国人を支援するボランティアを養成するとともに外国人の防災意識・自助力を高めることを目的として本講座を開催します。

今回は、実際に外国人被災者の支援活動に携わった国際交流協会職員と元留学生から、東日本大震災当時のお話を伺い、今後の災害への備えや災害時外国人サポーターに求められる役割などについて考えます。



「災害時外国人サポーター」とは…

災害時に、島根県内または近郊で被災した外国人を支援するために活動するボランティアのことです。具体的な活動としては、災害対策本部が提供する避難情報や支援情報を翻訳したり、避難所を巡回して外国人住民の状況を確認したりすることが想定されます。

詳しくは、しまね国際センターのホームページをご覧ください。

(<http://www.sic-info.org/volunteer/begin/disaster.html>)

- 日 程** 平成 25 年 12 月 15 日（日）10:00～14:30
- 【開 会】挨拶：（公財）しまね国際センター理事長 有馬 毅一郎
 - 【事例報告】東日本大震災における仙台区際交流協会の取組（10:10～11:10）
講師：（公財）仙台区際交流協会 須藤 伸子
 - 【体 験 談】震災とボランティア活動と仙台での暮らしを振り返って（11:10～12:00）
講師：元 仙台市災害時言語ボランティア（宮城教育大学卒業生）高 柏
 - 【講 義】災害への備えと災害時にボランティアに求められる役割（13:00～14:30）
講師：浜田市安全安心推進課・（公財）しまね国際センター
- 会 場** 島根県立大学 交流センター 研修室（浜田市野原町 2433-2）
- 参 加 費** 無料
- 対 象** 留学生とその家族、学生、教職員、日本語教室参加者など（定員 30 名）
- そ の 他** 昼食は各自ご持参ください。（当日は、学内の食堂・売店は閉店しています。）
- 申込方法** 申込書に必要事項を記入の上、下記までご持参いただくか、郵送・ファックス・メールのいずれかの方法でお申し込みください。

主催 // 島根県・しまね国際センター・島根県立大学
共催 // 浜田市・浜田国際交流協会

申し込み・
問い合わせ先

◆ 公益財団法人しまね国際センター 西部支所

〒697-0016 浜田市野原町 2433-2 島根県立大学内

TEL: 0855-28-7990 FAX: 0855-28-7991

E-mail: hamada@sic-info.org

災害時外国人サポーター養成講座（浜田） 参加申込書

お名前 <small>なまえ</small> （ふりがな）	性別 <small>せいべつ</small>	国籍 <small>こくせき</small>	母語 <small>ぼご</small>

参加するものに○印をつけてください。

- () 【事例報告】 東日本大震災における仙台国際交流協会の取組
- () 【体験談】 震災とボランティア活動と仙台での暮らしを振り返って
- () 【講 義】 災害への備えと災害時にボランティアに求められる役割

日本語はどのくらい分かりますか。 { 分かる ・ まあまあ ・ 分からない }

母語と日本語以外に話せる言語はありますか。

- (語) { 話せる ・ まあまあ ・ 少しだけ }
- (語) { 話せる ・ まあまあ ・ 少しだけ }
- (語) { 話せる ・ まあまあ ・ 少しだけ }

住 所 〒

連絡先（昼間の連絡が可能なものをご記入ください）

①第1希望 TEL / e-mail _____

②第2希望 TEL / e-mail _____

参加の動機

子ども連れで参加する場合は、口にチェックしてください

→

（性別、年齢、人数などをご記入ください）

- ※ 家族やグループ単位で参加する場合は、この用紙を人数分コピーして使って下さい。
- ※ この研修は、語学向上を目的としたものではありません。
- ※ お申しいただいた個人情報本研修の目的以外には使用しません。